

ライフケアガーデン熱川 山本 登(施設管理課長)

功 績 空室となった居室のトイレが、唯一のカーテンレールの目隠し型で、入居見学の際に見劣りがして、売りにくい部屋になってしまった。施設管理課の山本は、元・大工の技を活かし、金額・工期ともにかかる建設業者に頼らず、低コスト・1日で個室トイレに改築して、次の新規入居に結びつけた功績。

推 薦 者 竹内 司(介護課長・ケアマネ・入居相談員/営業担当)

推 薦 理 由 ご入居者を募ることは営業の仕事だが、営業だけでは対応できないこともある。経営マインドをもって、自ら腕を揮るい短期間・低コストでトイレを改築してくれたことで、次の新規入居に結びつけることができただけでなく、宮大工の匠の技を目の当たりに見せてもらい、職員も感動した。

内 容

A号室は、開設前から重度介護の方(寝たきりでトイレは使えない)のご入居が決まっていたため、設計時から、室内トイレは周りに壁のないむき出しの状態でした。次のご入居の際に、急場しのぎで目隠しのカーテンレールを取り付けましたが、途中からADLが低下されたため、11年間そのままの長いご利用となりました。

今年の1月にご入居者をご逝去され、久々の空室となり、個室として新たに販売するにはカーテントイレが見劣りして「売りにくい部屋」になってしまい、営業課長から施設管理課に、次の見学者が来るまでに、大至急で、業者に改築を手配してもらえないかとの依頼がありました。地元の複数の工務店に声をかけたところ、どこも手一杯で、着工未定で工期3日・工費25万円にクロス貼り・アコーディオンカーテン等で10万円の計35万円と、時間的にも金額的にも厳しい見積もりが出てきました。

施設管理課長の山本は、逝去が続いて下がった稼働率を戻したいと駆け回っている営業を助けようと、「それなら、自分がなんとかしよう」と動きました。正確に採寸した上で、枠組みの木材、壁となるベニヤ板や耐火ボード、クロス、アコーディオンカーテンなどを購入。まず、柱と別途組み立てた外枠で骨組みを作り、コンクリート床にボルト固定。次いで、木枠の壁組みを追加して強度を確保。手すりを追加取り付けできるように、内壁にベニア材を使用。配線を内壁に埋め込み。外壁に耐火ボードを設置。細部を丁寧にパテ埋めして仕上げ。表面にクロスを貼り、アコーディオンカーテンを設置。工期は僅か1日。費用は建築材1.5万円、クロスとカーテンが6万円の合計7.5万円で完成した。職員も、みるみる形が出来上がっていく手際の良さに、覗きに來ては感心しきりでした。

工夫した点としては、設計段階から壁を組み込んだ場合は、出入り口の枠は強度を気にしなくてもよいので、圧縮ダンボール材に化粧板を使用するが、今回は強度確保の観点からツガ材を使用して、肌理細かく鉋を掛けました。ツガの副産物として、かすかに心地良い樹木の香りが漂っています。

山本は「おおごとと言うような仕事じゃないんです。こんな作業に3日もかけていたら、大工は商売になりません。方針と段取りを決めれば、仕事は決めた通りに流れていくだけです」ということでしたが、製作上で一番苦勞した点は、両隣にご入居者がいらっしゃる点。作業が気になられたのか、お一人が、1時間おきに、「いつまで、おやりになるの?」、「明日は、おやりになるの?」と聞きにこられるので、とにかく音を立てないように、なるべく静かに、と心掛けました。

その後、A号室は、病院に入院しているときから、ライフのパンフを見て気に入っているというご家族が見学され、即決で退院時のご入居予約が決まりました。